

宇治田原町教育委員会定例会議事概要

令和5年第10回

日 時 令和5年10月24日(火) 14時開会

場 所 宇治田原町役場 2階 会議室202

出席委員

(教育長) 奥村 博巳

(教育委員)

教育長職務代理者 大嶋 良孝

委員 杉野 三千代

委員 川崎 文男

欠席委員

(教育委員)

委員 播磨 幸博

出席職員職氏名

教育次長兼学校教育課長 黒川 剛

社会教育課長 立原 信子

学校教育課課長補佐 杉浦 恒

書記職員職氏名

学校教育課教育総務係長 星野 聖美

傍聴者

なし

1 開会 教育長が第10回宇治田原町教育委員会定例会の開会を宣言する。

2 教育長あいさつ

3 議事録承認

令和5年第9回宇治田原町教育委員会定例会議事録の承認

4 議事

(1) 付議案件

なし

(2) 報告事項

ア 学校教育課所管事項について

・宇治田原町部活動のガイドラインについて

(説明) 現在中学校の部活動の地域移行を進めているが、そのプロセスと運営に当たっての留意点を取りまとめたもの。策定にむけての協議経過・策定の趣旨・目指すべき部活動(管理・事故対応)・活動時間と休養日等の基準、実施主体と指導者の責務、指導にあたっての留意事項、教育委員会の役割について明記。令和5年11月1日施行。

(質疑)

〈委員〉 11月からバレーボール部で実施とのことだが、こういったことが動き始めると、部のないスポーツの実施希望などが出てきやすくなると思う。そういった場合の対応はどうするのか。

〈事務局〉 あくまで部活動の設置については校長の判断で行うことになっており、地域移行をするからといって今中学校にないクラブを作るという事は考えていない。生徒の数も減っているなか、今のクラブを維持するのが精いっぱいであると思う。廃止されたクラブを復活させても、それを継続できるかどうかといった問題があり、実態に応じて学校・教育委員会と相談しながら決めて行こうと思っている。

外部指導者の確保についても、いきなり外部の方に任せるのではなく、しばらくは顧問と複数体制でやっていただいて、状況を確認のうえ外部指導者として認定をさせていただき、その後外部指導者だけで運営していくように移行を考えているところ。

・全国学力・学習状況調査の結果について

(説明) 令和5年4月に実施した全国学力・学習状況調査の結果をまとめたものを各学校へ配布し、併せて保護者へも結果についてまとめた文書を配布する。

(質疑)

〈委員〉 それぞれの結果分析を学校だより等に掲載するときに気になるのが、地区で回覧される際に、分析の仕方が違ったり、結果が容易に比較される状態で出すのはどうかと思う。結果が異なっている、小中一貫に向けてはどのように対策していくか、ということ进行全面に出していく必要があるのではないかな。

〈事務局〉 過去には各校で分析をして学校だよりに掲載していたが、今のような指摘もあり、現在は各学校だよりで分析をするということはしておらず、今配布した文書を保護者にお渡しすることになっている。

〈委員〉 この資料を保護者へ配布するとのことだが、裏面に「上回る」「やや上回る」などの基準が記載されているが、これは必要ないのではないかな。この文書を見ている限りでは全て「下回る」なので、この基準の記載があることで、ああこんなに悪いのか、と受け取られるかもしれないため、入れなくてもいいのではないかなと思う。

〈委員〉 この文書だが、実施人数とかではなく、あくまで「学力・学習状況調査」なので、学力だけではなく、学習状況についても記載していった方がよいと思う。学習状況ではいい結果が出ている部分もある。ここでPRしておくことで、予算なども取りやすくなるという面がある。

〈事務局〉 経年変化とはいえ、実施している児童生徒が違う中、前年度と同じ事業をしていても波は出てくる。具体的な取組と、この結果をイコールで結びつけるような結果になってしまうと、対象が異なることによる波でどのような意見がでてくるかということは懸念される。

〈委員〉 学力は全国と比べて少々低いとしても、例えば「朝食を毎日食べているか」に対して94.5%が「している」「どちらかといえばしている」と回答している。これは家庭基盤がしっかりしているということ。子どもは学校だけでなく、家庭・地域と連携して育てていくもので、その意識を持ってもらうためにも、そういった点で秀でていることもこの報告書に記載してもよいと思う。

イ 社会教育課所管事項について

・学童保育施設について

(説明) 現在田原学童には1つの建物に2クラス(2支援単位)、宇治田原学童は丸山交流館の中で1クラス(1支援単位)となっている。いずれも面積要件はクリアしているためその状態で長くやってきたが、共働き家庭が増えたこと、また宇治田原小学校の次年度入学生が多いということから、宇治田原学童に1支援単位を増設する予定。12月補正で設計費用を計上し、工事については次年度に計上する予定で財政部局と話を進めている。今後児童が増えていくわけではないが、今の人数でも2クラスに分けた方がゆったりとした保育ができ、また補助金に関しても2クラスあった方が補助金が増額されるため、5年程度で建設費がペイできると試算している。

5 その他

(質疑)

〈委員〉 中学校のWi-Fi環境についてあまりよくないということを何人かから聞いている。学校内で良好なところもあれば入りづらい箇所もあるということだが、増設などは検討しておられるのか。

〈事務局〉 今年度全国学力・学習状況調査でもCBTでの回答があるため、昨年度大規模調査を行ったが、町内3小・中学校ともアクセスは良好である。特別教室が一部つながりにくいという話は聞いているが、使用用途が限られており、別の場所で活動することも可能。普通教室は問題がない。

6 閉会 教育長が第10回教育委員会定例会の閉会を宣言する。